



現役薬学部女子学生と語る ～女性薬学研究者育成チームPOLISH座談会～



Aさん

創薬科学科
(臨床系)



Bさん

薬学科
(臨床系)



Cさん

創薬科学科
(生物系)



Dさん

創薬科学科
(有機系)

2021年4月より活動を開始した、女性薬学研究者育成チームPOLISH。最初の活動として、薬学部4年生女子4人にお集まりいただき、POLISHメンバーの女性教員と座談会を開催しました。第一回目のテーマは「学科選択について」。これから学科選択を迎える1～3年生にとって有意義なお話を伺うことができました。

一まず、薬学部を志した理由を教えてください

Cさん：高校1年生の時にいった東北大学のオープンキャンパスで興味を持ちました。高校3年生の時、製薬会社を見学する機会があり、薬の開発について勉強しました。時間がかかって大変そうだけど、薬ができる効果・影響がとてもあるので、そういう仕事に就きたいと思い、薬学部を志望しました。オープンキャンパスでは、生命科学分野、ゲノムライブラリーの話を見学して、有機系も面白そう、研究者はいいなと思いました。

Dさん：医療系に進みたいと、中学生の時から漠然と考えていました。ものづくりがしたい！という思いもあり、それであれば薬学部かなと思い、オープンキャンパスを見に行きました。大学受験時に薬学科と創薬科（どちらに進みたいか）がまだ決まっていなかったので、東北大学薬学部は考える猶予があり良かったです。

Aさん：私は元々薬剤師になりたいくて…。人を救いたいという医者がいるように、TVで医者を支えている薬剤師の番組を見て、薬学部に入りました。

Bさん：医療関係の仕事に興味があり、薬剤師は結婚・出産をしても一生働くことができると思ったので、薬学部に入りました。

一東北大学薬学部は3年後期から、薬剤師を目指す6年制の薬学科か医薬品研究を目指す4年制の創薬科学科に学科が分かれますが、それぞれ志望した理由を教えてください

Cさん：私は創薬科学科です。4年制・6年制はずっと迷っていたけれど、研究をやりたくなれば(実務実習のある)6年制は大変そう…。4年制の方が研究・実験に集中できてよいと思ったので最終的に選びました。

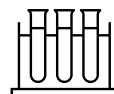
Dさん：私も創薬科学科です。高校の時、薬学部の方の話聞く機会があり、「薬学科で勉強しながら研究もできるよ！」と

は聞いていたのですが、自分に両立させることができるのかなど半信半疑でした。やはりものづくりがしたいという気持ちは変わらなかったで、研究をしたり、現場で働ける4年制を選びました。

Aさん：私も創薬科学科です。最後まで迷ったけれど、創薬で研究をしているのが楽しいので、今は4年制で満足しています。薬にかかわる、何かを作る仕事はしたいなと思っています

Bさん：私は薬学科です。授業で製薬企業の方から話を聞く機会があり、企業への就職にも興味が出て来て…。薬学科は薬剤師になる人、企業に就職する人がいるのでいいなと思ったのが理由です。今は薬剤師になることは少し迷っています。

一学科選択は3年次後期に行われ、本人の希望とそれまでの成績によって決定されます。学科選択の希望を叶えるために勉強面で心がけていたことはありますか



Cさん: はじめのうちは座学ではあまり質問しませんでした。テストは死ぬ気で頑張りました。実習が始まり、2・3年生で授業の内容も理解するようになってからは、質問するようにしてました。(コロナ禍で)対面でできた実習がほとんどなくて、後半の生物系の実習は興味はあったんですけど、オンライン実習で分からないところはメールで先生やTAに質問してました。先生は丁寧に教えてくださって、聞いてよかったですと思いました。

Bさん: テストに向けては頑張っていて勉強していました。一番前に座って授業を聞いたり、教授にメールで質問したり…。周りもみんな頭が良いので、誰に聞いても教えてくれました。

Dさん: これは反省ですが、まとめノートを作って覚えずに満足してたところがありました。覚えるまでがテスト勉強なんだなと思いました(笑)。範囲が広くなり、何が重要か分からなくなってきた感じがあります。

—1年生のうちから学科選択を意識していましたか?

Cさん: 1年生の時は、学科も研究室もよくわからなくて、不安の方が多くありました。でも、とりあえずテスト前は諦めず頑張ろう!と思いました。

—よい学科選択をするために早いうちからやっておいた方がよいことはありますか?

Aさん: 勉強の食わず嫌いをしないこと。私は有機系が苦手です…覚える量が多いのと、昔のことを忘れてしまって、苦手意識が溜まっていく感じがあったのですが、院試のために有機の勉強をしてみると、今更ながら面白いなど。まんべんなく勉強しておいた方が、自分が何が好きか分かるので学科の選択にも役に立つと思います。

Bさん: そうだね。これまでテストのための勉強をしたので、興味のあるところをもっと勉強しておけばよかったと思います。

-これから学科選択を迎える後輩にアドバイスををお願いします

Aさん: (成績を維持するには)勉強量が多いので、復習はその日のうちにしておいた方がよいです。課題がどんどん出るので、考えながらこなした方がよいと思います。



Cさん: そうそう。勉強はその日のうちに絶対しておいた方がいい!!それと、「研究に集中してやりたいのであれば、創薬科学科の方が良い」と(もっと早い段階で)誰かにアドバイスして欲しかったです。

病院実習でその間研究がストップしてしまうので…。

Dさん: ガイダンスの時に成績の順位表が配られるのですが、自分で推測していた順位と実際の順位と合わないことがありました。計算を面倒くさがらず、しっかり自分の順位を把握することが大事だと思います。できれば、教務係に順位を計算していただけると嬉しいのですが。。。勉強はきちんとした方がよいというのは、皆さんと同じです。

Bさん: もし万が一、自分の希望の選択通りにいなくても、楽しそうにしてるので…。どちらでも大丈夫だと思います!



女性教員リレーコラム



第1回 臨床薬学分野 佐藤恵美子

POLISHの活動はじめました!

4月にPOLISHの活動を開始して2か月がたちました。POLISHを立ち上げたときに、何をしたらいいのか本当に悩みました。現在のメンバーと活動内容を話していくうちに、薬学研究科に女性教員が少ないことが話題となりました。そこでPOLISHでは「将来の薬学研究を担う女性研究者を育成する」を目標に活動を始めました。ただ、目標を設定したけど、学生が何を考え、何を必要としているのか全く分かりませんでした。そこで、5月に複数の学生と座談会を設けて話をさせていただきました。座談会の中では、女性研究者・女性教員に対する感じ方についても話を聞きました。今回お話しした学生からは「女性教員は、1日中研究のことを考えていて、昔から研究一筋のイメージがある」というお話がありました。おそらく、多くの学生は同じようなイメージを持っているのではないかと思います。私もそのように考えていた1人です。しかし、実際に自分がそのような立場になると考えが変わりました。私は1日中研究のことを考えているわけでもなく、昔から研究ができていたわけでもなく、自分のイメージとは全く違いました。どちらかという私は昔から「実験を早く終わらせて早く帰りたい。」と思う人です。これから、学生と話す機会をできるだけ多く設けて、女性研究者・女性教員についてもっと知っていただき、将来、薬学研究をする研究者になっていただきたいと思っています。これからどうぞよろしくお願いいたします。

POLISHの活動について、皆さんからのご意見・ご要望・ご感想などをぜひお寄せください

発行・編集：東北大学大学院薬学研究科
女性薬学研究科育成チーム POLISH

polish@mail.pharm.tohoku.ac.jp (事務局 佐藤由紀)